

# 西部支部だより 第130号

平成 25年6月28日発行  
(公財) 鳥取県産業振興機構 西部支部  
[E-mail:kseibu@toriton.or.jp](mailto:kseibu@toriton.or.jp)

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 商談会開催報告 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

6月は先月に引き続き食品関係の商談会を2回開催いたしました。鳥取県内のこだわりをもって生産、加工をしておられる企業の皆様の製品、商品を県外のバイヤーにPRしていただき販路開拓につなげていただきました。

### ☆☆☆☆☆☆☆☆ 「(株)中国CGC水産商談会」☆☆☆☆☆☆☆☆



6月21日に境港市にある鳥取県営境港水産物地方卸売市場において水産物のみの商談会を開催しました。この商談会は、先月に引き続き広島市に本部のある(株)中国CGCのほか同社に加盟しているスーパーの(株)フレスタ(広島市)、(株)藤三(呉市)、(株)中央フード(岩国市)、(株)キヌヤ(益田市)の5社のバイヤーを招聘して、円安により水揚げの多い産地との取引を再発掘するため、境港漁港から水揚げされた鮮魚や水産加工品の中であまり知られていない商品を中国地方のバイヤーにPRしていただきました。

参加された地元の企業は、境港市と米子市の企業10社が参加され、境港漁港で水揚げされる魚種や漁期のほか漁獲量など詳しく

説明され、水産加工品については、アジやイワシ、イカなどの加工食品を商品サンプルや試食を交えて提案していただきました。

当機構では、広島道が開通したことにより輸送時間が大幅に短縮され、今まで取引事例が少なかった鮮魚でも輸送可能となったことから、山陰で一番の水揚げ高、全国でも有数の水産港の生鮮、水産加工品を広島圏域にPRすることにより販路を拡大していただけるような体制づくりにつなげて参ります。



### ☆☆☆☆☆☆☆☆ 「とりぎん食品商談会」☆☆☆☆☆☆☆☆



6月26日ホテルサンルート米子において(株)鳥取銀行の主催、当機構の共催により食品商談会を開催いたしました。今回は県外から広島県広島市のアクト中食(株)、大阪府八尾市の(株)そごう・西武(西武八尾店)、山口県防府市の(株)ユアーズ・バリュー、の他に東京都の(株)ぐるなびの4社をお招きして、県内企業22社の参加により50件以上の商談が行われ、鳥取県内で生産、加工される優れた産品を県外バイヤーに向けてご提案いただきました。

参加された、地元企業の方々は自己の商品をPRするため独自の企画書を作成され、サンプルや試食品により産品、商品の特長やこ

だわりのある生産方法などを力強く説明しておられました。中には、この商談会で即決で商談が成立した場面も見受けられました。

今後は、参加された企業各位がこの商談会を通じて、引き続きバイヤー企業にいかによりPRするかにより商談が進展していきますので、粘り強く商談成立に向け、ご提案をお願いいたします。

当機構では、県内企業の取引先拡大のため、優れた食品加工品、産品を県外バイヤーにPRしていただくよう食品に関する商談会を引き続き計画しています。詳細が決まり次第、企業各位に御案内いたしますとともに、ホームページ又は西部支部だよりに掲載いたします。



## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 鉄鋼スラグ研究会報告 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

～鳥取・島根連携による「鉄鋼スラグ等商品化研究会」、「人工海底山脈」の研究会・講演会を開催～



平成25年6月14日(金)松江東急インにおいて当機構では、公益財団法人しまね産業振興財団と連携して、鉄鋼スラグ等の循環資源について、排出者や再生利用者及び産学官の関係者が一同に会し、利用促進に向けた具体的な取組を促進するため、研究会を開催しました。

鳥取県では、鳥取大学との共同研究をやまこ建設を中核として、米子製鋼、日本ハイコン、黒田海事、湯川建設が実施し、鉄鋼スラグ等のリサイクル推進に向け成果をあげました。また講演会では、人工海底山脈という大きなテーマに対し、とても分かり易くしかも将来のビジネスチャンスも感じられる、内容的に素晴らしい講演でした。